

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	2000
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.78, (2000. 6)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00780001--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

目次

『万葉集』巻第六・その性格をめぐる――聖武朝の皇統理念から――	親野英道	1
お伽草子『まんじゆのまへ』試論	恋田知子	24
芥川龍之介「庭」論――カオスとしての庭――	副田賢二	48
周瑜描写の踏襲に関して――『三国志平話』から『三国志演義』へ――	伊藤晋太郎	69
五十年代台湾における文学状況――反共文学を中心に――	道上知弘	87
迷宮表象原理――迷宮表象の意義と淵源についての考察――	和泉雅人	106
彙報		159
藝文学会一九九九年シンポジウム「幻想における善と悪の表象」		224
現代中国語の結果補語と可能補語の関係について	浅野雅樹	241
稲妻の想像力――メルヴィルの短編にみる主体の通約可能性――	大和田俊之	257
人間性と悲劇――レジナルド・ヒーバー『アーサー王の死』について――	高橋勇	274
〇の多義性に関する一考察	花崎美紀	303

ヴァルター・ベンヤミンの模倣論的言語理論について―モデルネ論との関連におけるの考察―	川島建太郎	321
「ヴォルムスの薔薇園」ヴァージョンAにおけるクリエムヒルトの描写をめぐる	渡邊徳明	344
―繰り返し想起起こされるクリエムヒルトの密かなたくらみ―		
「死に行く自我」と書く手―シヨルジュ・バタイユのフィクションと思考について	市川崇	359
「知」と「真理」フリーコーとラカンの隔たりについて	岩崎洋介	369
テオフィル・ゴーチエによるバレエ『ジゼル』原案について	小山聡子	388